

様式 2

番号 観点	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教科書名
	116・日文	第1学年 第2学年 第3学年	道徳 725、道徳 726 道徳 825、道徳 826 道徳 925、道徳 926	中学道徳あすを生きる 1、中学道徳あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳あすを生きる 2、中学道徳あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳あすを生きる 3、中学道徳あすを生きる 3 道徳ノート
取扱内容 〔学習指導要領の道徳〕の目標、内容等	<p>○ 生命の尊厳について 第1学年では、自分にとって生きるとはどのようなことか、自分が生きているとはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、生命を支え合うとはどのようなことか、生命の重さや尊さとはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、尊い命を大切に生きていくためには何が必要か、命の連続性とはどのようなことかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 自然について 第1学年では、自然と人間が共生するためにできることはどのようなことかを考える活動等、第2学年では、自然とどのように関わっていくことができるかを考える活動等、第3学年では、人間が自然と共生していくためにどのような心構えが必要かを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 伝統と文化について 第1学年では、郷土を愛していくためにはどのようなことが大切かを考える活動等、第2学年では、郷土の伝統を絶やさないために必要なことはどのようなことかを考える活動等、第3学年では、伝統文化を知るとはどのようなことにつながっていくかを考える活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p> <p>○ 情報化への対応について 第1学年では、インターネットを扱い、著作権法などのほかに自分が尊重したいから守ろうと考えるルールにはどのようなものがあるかを話し合う活動等、第2学年では、インターネットを扱い、メール等でのやりとりで自分の言葉に対する責任をもつためにはどのようなことが大切かを話し合う活動等、第3学年では、スマートフォンを扱い、自分の欲望を抑えるためにどのような努力が必要かを話し合う活動等を取り上げ、生徒が主体的に道徳性を養うことができるようになっている。</p>			
内容の構成・排列、分量等	<p>○ 内容の構成・排列 言語活動については、自分や友達の考えを記入する欄を別冊に配置し、問題解決的な学習については、問題をつかむ活動や考える活動を促す「学習の進め方」を配置し、体験的な学習については、道徳的行為に関する体験的な学習を示した「学習の進め方」を配置するなど、生徒が多面的・多角的に思考できるよう工夫されている。</p> <p>○ 内容の分量※ 第1学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で51教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。 第2学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは16教材、Dは7教材、Eは17教材、全体で53教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。 第3学年～Aは7教材、Bは6教材、Cは15教材、Dは7教材、Eは16教材、全体で51教材であり、総ページ数は別冊を含め231ページとなっている。</p>			
使用上の配慮等	<p>○ 各学年の別冊に、印象に残った学習とその理由を記入する「道徳の学習で学んだことを書いてみよう」を配置し、自らの道徳的成長を実感したり、新たな課題や目標をもったりするなど、生徒が自らを振り返るための工夫がなされている。</p> <p>○ 各学年の別冊に、家庭や地域社会との連携による指導への配慮として「保護者記入欄」を配置し、家庭や地域との連携を深めるための工夫がなされている。</p> <p>○ 道徳の学習の進め方を示すページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいようカラーユニバーサルデザインなどを採用したりするなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他	<p>○ 北海道と関連のある教材は、「よみがえれ、えりもの森」など4箇所取り上げられている。</p> <p>○ いじめ問題については、自分の気持ちや考えを相手に伝えるためにはどのようにすればよいかを考える活動等を取り上げている。</p>			

※ 「内容の構成・排列、分量等」の「内容の分量」のAは「主として自分自身に関すること」、Bは「主として人との関わりに関すること」、Cは「主として集団や社会との関わりに関すること」、Dは「主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること」、Eは「複数の内容項目が含まれている教材」を表す。